

芸術家ゴヤが生まれた村、サラゴサから 44 キロ、  
荒涼の地を、通過して、訪ねたことがある。宮廷画家・ゴヤ  
「着衣のマハ」「裸のマハ」。晩年「我が子を食らうサトゥルヌス」「黒い絵」。  
あまりにも違う作品。人生に何があったのか、興味を抱いていた。

また、絵画「モナリザ」が、フランス・ルーブル美術館だけでなく、  
2枚目が、スペイン・マドリード・プラド美術館に飾られているという報道。  
そんな背景もあって、マドリードを、再訪できればと願っていた。  
まさか、夢が実現するとは。



山はみどり 野に花 人には心

